

南陽図書館つうしん 2024夏号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目 130-79

TEL:052-301-2116 Fax:052-301-2117

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、直後の平日を休館)

第3金曜日(祝日の場合は開館) 年末年始(12/29-1/4)

特別整理期間【令和6年度 6月17日(月)~21日(金)】

名古屋市図書館ホームページ:<https://www.library.city.nagoya.jp>

南陽図書館X(旧ツイッター):@nagoya_nanyolib



ご当地小説のすすめ

今年の本屋大賞を受賞したのは滋賀県大津市を舞台とした小説『成瀬は天下を取りに行く』(宮島未奈/著, 新潮社)です。郷土愛あふれる主人公の少女「成瀬」のキャラクターが魅力的な小説ですが、大津市のことがかなり詳細に、マニアックに描き込まれているのもこの作品の特徴のひとつです。読者としては、自分のよく知る地元が小説の舞台になっていると、より物語の世界を楽しめますよね。

では、名古屋市が舞台になっている小説はどうかというと、新旧あわせてたくさんの作品が存在します。どんなものがあるのか知りたい方のために、名古屋市図書館ではホームページの中に「小説で読む名古屋」という図書リストを掲載しています(名古屋市図書館ホーム>調べ物案内>名古屋なんでも調査団>名古屋物語)。「その作品にどのくらい名古屋が登場しているか」によって、「名古屋度」を☆☆☆(高)から☆(低)までランク付けして、300 作品以上を紹介しています。

古くは江戸川乱歩や清水義範、堀田あけみなどの作品があり、最近では太田忠司、吉川トリコ、広小路尚祈などが名古屋度が高い作品を多く出しているのが分かります。また、こんな作品に名古屋出てたっけ?という☆(低)作品も逆に興味をそそられます。もちろんすべての作品を網羅できているわけではないのですが、歴代の担当者がコツコツと情報収集して少しずつ更新しています。ご興味のある方は是非ご覧ください! (小)

この印刷物は再生紙を利用しています。

おすすめ
します!

新しく入った本の紹介



キャンプの教科書 ゼロから楽しく始められる!

長谷部雅一/監修 ナツメ社(7863)

キャンプに挑戦してみたいけど、どうやって始めたらよいの? そんな方にぴったりの1冊です。計画の立て方、キャンプ場の選び方、どんな道具をそろえるとよいかが順序よく紹介されています。最初はデイキャンプ(日帰り)でもよいのです。キャンプの時間の過ごし方は人それぞれ。自然の中でテントを張って、ごはんを食べてお昼寝するだけでも、ゆったりした開放感を味わうことができますよ。



ロンドン幽霊譚傑作集 創元推理文庫

W.コリンズ/[ほか]著 夏来健次/編 東京創元社(933)

19 世紀末ヴィクトリア朝ロンドンで生まれた幽霊譚傑作集。霧の中、ガス灯でぼんやりと照らされた夜のロンドンが目に浮かびます。13 編のうち 12 編が本邦初訳。中には『砂の妖精』などの児童文学で知られるイーディス・ネズビットの作品も。大英帝国時代の文壇の活況ぶりが伝わってきます。



自家醸造を楽しむ本 ジンジャーエール・マッコリ・シードルから

ビール・コンブチャ・テパチェまで発酵ドリンク 30 種

アドバンスブルーイング/著 農山漁村文化協会(5967)

麴やイースト(酵母)、乳酸菌など、通販でも入手できる材料を使って、自宅で気軽に作れる発酵ドリンクを紹介した本です。アルコール度数はゼロから数パーセントで、炭酸の具合も調整できるので、自分だけのこだわりの一杯を追求するのも楽しいですね。



表紙画像は、出版社の許諾済みです。



★南陽図書館からのお知らせ★

夏休みの行事について

南陽図書館では、夏休みに下記の行事を開催します。

・こども昆虫教室

7月27日(土) 午前10時～11時30分

対象:小学生 定員:8名

申込:7月12日(金)午前9時30分～ 先着順



・読書感想文書き方講座

8月1日(木) 午前10時～11時

対象:小学生 定員:18名

申込:7月18日(木)午前9時30分～ 先着順



・こわーいおはなし会

8月3日(土) 午後2時～2時20分／午後2時30分～2時50分

対象:幼児(5歳くらい)～小学生

・藤前干潟ワークショップ

8月21日(水) 午前10時～11時30分

対象:小学生 定員:8名

申込:8月11日(日)午前9時30分～ 先着順



*いずれの行事も、変更や中止になることがあります。

詳しくは、各行事のチラシや図書館ホームページをご覧ください。

ご参加お待ちしております！

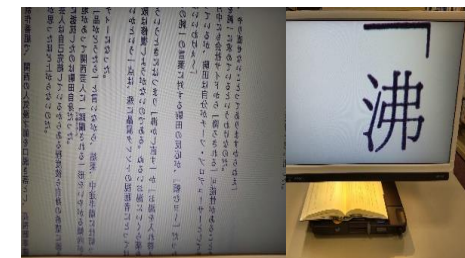
『拡大読書器』を知っていますか？

令和元年(2019年)6月、誰もが文字・活字に親しみ恩恵を受けられる社会の実現を目指し、「**視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律**」が施行されました。昭和4年(1929)年に市立名古屋図書館(現・鶴舞中央)に「点字文庫」を開設して以来、対面読書、DAISY(視覚障害者用録音図書)機器設置、郵送貸出など、これまでも全館挙げて視覚障害者サービスに取り組んできた名古屋市図書館ですが、この法律、通称「**読書バリアフリー法**」推進の為、全館最新の「**拡大読書器**」を導入しました。

南陽では文学コーナー中央スペースの机上にあります。スイッチを入れ、本を下の台に置くだけで、内容が上のディスプレイに拡大表示されます。ピントは自動で合い、文字の大きさはレバーをスライドするだけで数倍～数十倍に。難しい操作はいりません。

弱視の方や識字障害(ディスレクシア)の方はもちろん、小さい字や写真が見づらい、もっと拡大して見たい、という方にも大変便利です。ぜひ試してみてください。

また、令和6年(2024年)3月、名古屋市は『**読書バリアフリー推進計画(第1次)**』を策定しました。図書館も構想から深く関わっています。音声読取付コード付き冊子が図書館で借りられるほか、配布用もあります(5/16現在)。



大活字本サイズから超特大まで簡単に拡大!使う時はカウンターにお声がけください。

特別整理休館のお知らせ

- ・南陽図書館は6月17日(月)～21日(金)、特別整理のため休館します。
- ・休館にともない、6月4日(火)から貸出期間が3週間に延長されます。貸出冊数の変更はありません。

・図書館の不用図書リサイクル会は実施しません。

図書館で不用になった図書や雑誌は、特別整理休館が終了した後、順次「市民のリサイクルコーナー」へ出しますので、どうぞご利用ください。

